

# 長崎労働基準監督署の労働災害発生状況について

令和5年5月

## 労働災害 + 記録表

### 長崎労働基準監督署 (新型コロナ関連を除く)

死亡者数 0人 (前年比 - 2人)

死傷者数 632人 (前年比 - 9人)

期間 令和4年1月1日～令和4年12月31日

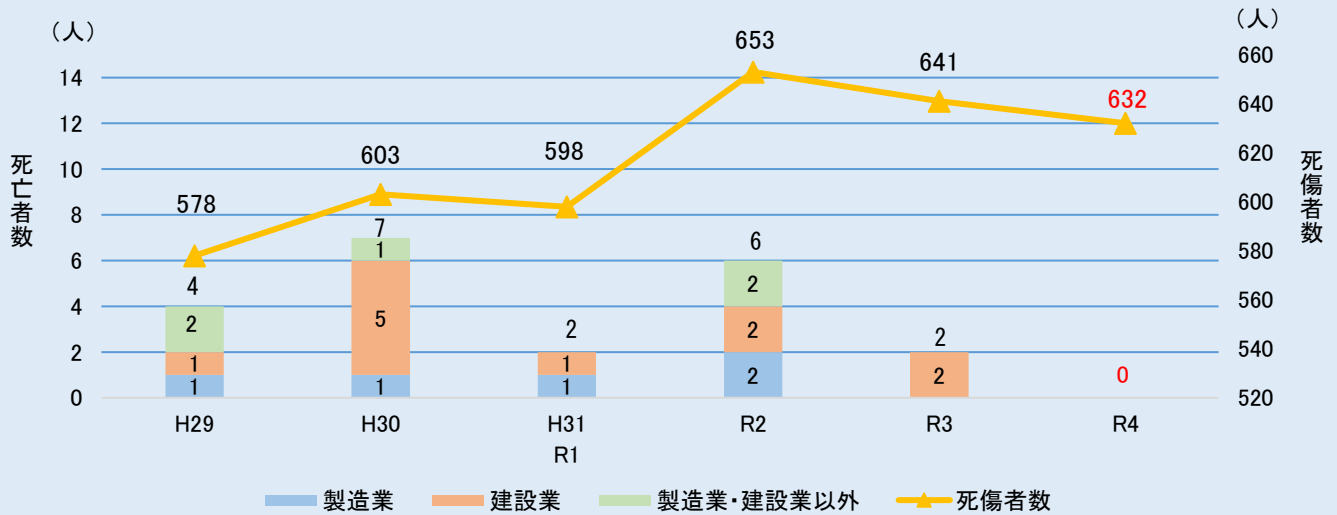
令和4年において、新型コロナウイルス関連を除き、業務中の死亡者数は0人となりました。

また、休業4日以上之死傷災害は、新型コロナウイルス関連を除き、632人となり、2年連続の減少となりました。

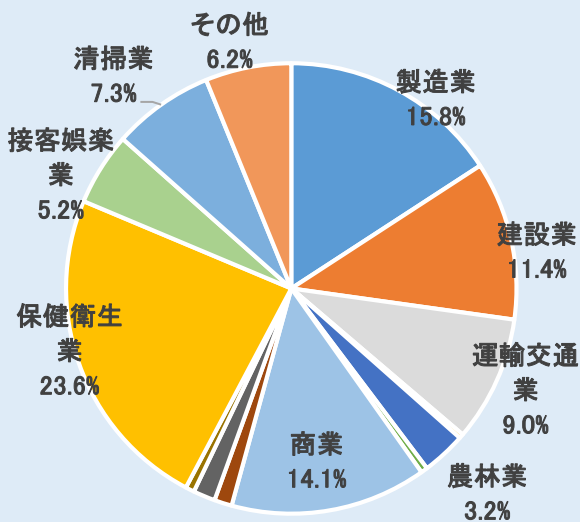
なお、業務中の新型コロナウイルス関連による休業4日以上之死傷者数は775人となっています。

## 令和4年の労働災害発生状況 (長崎署、新型コロナ関連を除く)

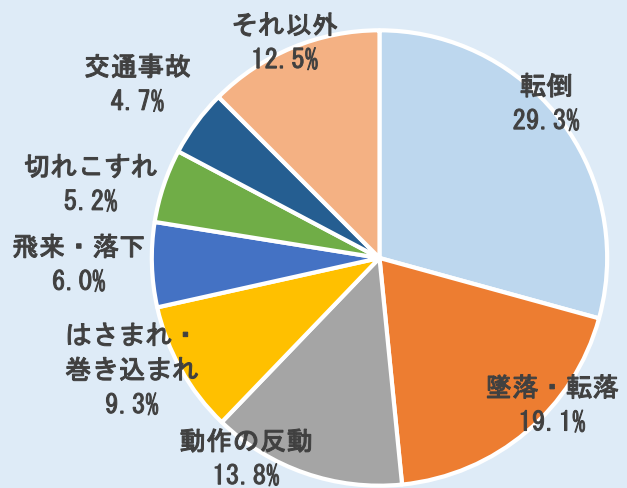
### 労働災害の推移 (死亡、死傷)



### 業種別



### 事故の型別

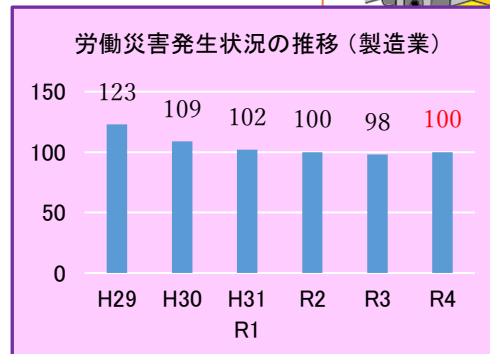
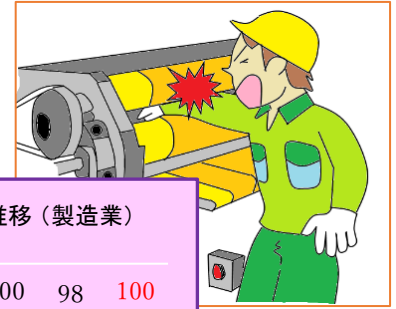


## 製造業の労働災害発生状況(長崎署、新型コロナ関連を除く)

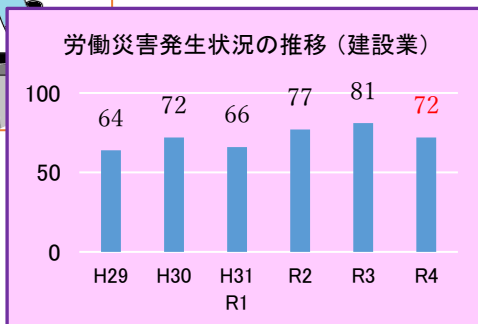
令和4年の製造業の休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害は100人となり、前年より2人増加していますが、死亡者数は0人となりました。

業種別では、食料品製造業が30人と最も多く、次いで造船業29人、金属製品製造業16人となっています。

また、事故の型及び起因物の組み合わせを見ると、通路での転倒(18人)、動力機械による巻き込まれ(13人)、梯子からの墜落(6人)が目立って発生しています。



## 建設業の労働災害発生状況(長崎署、新型コロナ関連を除く)



令和4年の建設業の休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害は72人となり、前年より9人減少し、死亡者数は0人となっています。

業種別では、建築が36人と最も多く、次いで土木22人、その他14人となっています。

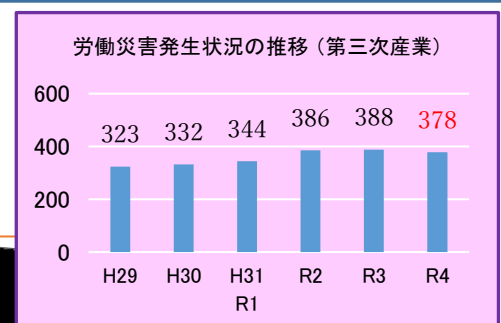
また、墜落・転落が休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害の43%(31人)を占めており、はしごからの墜落が12人、足場・作業床からの墜落が7人となっています。

## 第三次産業の労働災害発生状況(長崎署、新型コロナ関連を除く)

令和4年の第三次産業の休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害は378人となり、前年より10人減少し、死亡者数は0人となっています。

業種別では、保健衛生業が149人と最も多く、次いで商業89人、清掃業46人、接客娯楽業33人となっています。

また、事故の型及び起因物の組み合わせを見ると、通路等での転倒(97人)、腰痛(31人)が目立って発生しています。



担当部署 長崎労働基準監督署 安全衛生課

所在地 長崎市岩川町16-16

電話 095-846-6392